

平成24年度 各郡市の研究活動報告(新潟市)

会 長 近藤文男

副会長 齋藤進一 本間則昭 梅津玲子

評議員 齋藤進一

1 研究活動の方針

新潟市小学校教育研究協議会は昭和24年に創設され、今年度63年目になる。平成17年に近隣市町村との合併により会員数が増加し、平成24年度は2616名を数える。新潟市内小学校・特別支援学校及び附属諸学校に在職する全教職員をもって組織されている。以下の方針の下、授業研究を中心とした実践的な研究活動の推進に当たっている。

- (1) 新潟県及び新潟市の小学校教育の課題解決を目指すとともに、各学校の指導の改善に資する。
- (2) 年間9回の「市小研の日」を中心に20の研究部が自主的に研究を推進し、毎年三つの研究部がその成果を発表する。
- (3) 各研究部の主体性を尊重するとともに研究体制や運営を工夫させ、効果的な研究推進に努める。

2 研究活動の実際

- (1) 研究発表会の開催（平成24年8月21日(火)会場：新潟テルサ）

午前の部と午後の部の2回に分けて開催し、全会員が参加する会となっている。今年度は、社会部、家庭部、特別支援教育部が研究発表を行い、各部担当理事が指導講評を行った。その研究主題は以下の通りである。

- ①社会部 — 「思考の方法」を活用した社会的思考力・判断力の育成—
- ②家庭部 — 学びを生かし家族とつながる生活を創り出す子どもを目指して—
- ③特別支援教育部 — 共生「ともに認め合い、育ち合う」—

- (2) 各研究部の活動（「市小研の日」の活動）

各教科の他に、総合学習、外国語活動、道徳、特別活動、学校図書館、生徒指導、保健、給食、学校事務、情報教育の20研究部を設置している。各研究部では、研究主題、研究内容、研究方法等を明確にした年間事業計画に基づき、授業研究、講演会、実技指導等会員のニーズを生かした活動を自主的・継続的に行っている。

- (3) 会報及び研究紀要の刊行

会報「市小研だより」(年2回)、研究紀要「教育実践」第56号を刊行する。

3 市小研が主管した主な事業

- (1) 図画工作実技講習会 8月20日(月)立仏小学校
- (2) 第35回児童による情報交換会 9月18日(火)黒崎市民会館
- (3) 第48回児童生徒科学研究発表会 9月25日(火)市立総合教育センター
- (4) 第58回小学校音楽祭 11月7日(水)～9日(金)新潟市芸術文化会館